

平成30年度
ブロック別懇話会の報告

開催する懇話会は、昨年より始まり、年1回、北部、中部、南部の地域ごとに支会役員や母子連絡員の皆さんが集い、それぞれの地域特性に応じた活動や取組みについての情報交換や研修、また、勉強会や地域の関係団体との連携強化の取組み等を行っています。

北部

テーマ
会員獲得について

内容
●地道に活動しコミュニケーションを図るとともに魅力のある母子会にする。
●行政に働きかけ母子会の案内やいきいきふれあい事業の案内等の郵送を依頼する。
●お互いが支え合って成り立つ会なので母子が知りたい情報を発信していく。
●近畿大会や全国大会に参加し厚労省の情報を伝えて行くことも大切。
●居場所づくりは会員獲得に繋がる。
●悩みの相談窓口になるような母子会にする等の意見が出されました。会員減少は各支会が抱える課題でもあるため情報交換など活発にし会員獲得に努めていきたいと思われました。意義のある懇話会でした。

京丹後支会 梅田 豊子



全国身体障害者施設協議会顧問 徳川 順尚氏の講演

中部

テーマ
1 発達障害のある子どもたちの対応
2 会員獲得について

内容
●約40名参加のもと開催され、発達障害のある子どもさんを育てられた体験等を聞いた。明るく乗り越えられて子どもさんも自立された話を聞かせて頂き、家族の協力や専門分野や行政との連携の重要性や、ひとりで悩まない事の大切さを感じた。
●どの支会も会員の獲得に苦労しているとの事で、個人情報や伝え方の難しさ等で苦労しているとのこと。
●こどもの居場所づくりについても家族で支えてもらえない状況下で学校から帰ってひとりで過ごしている子どもはいないか、夕飯をひとりで食べなければならぬ環境の子どもはいないか、こうした子どもには居場所は大切。

南丹支会 勝田 恵美子



NP〇びどうの代表理事 西田 昌代子氏の講演

南部

テーマ
活動の活性化
「こどもの居場所・子ども食堂事業」の推進について

内容
●城陽市福祉課長他の城陽市の学習支援、見守り、学費融資の説明。
●グループ討議
各支会が集まり班を作り、居場所づくり事業の発表をする。学習塾で子ども達や親とコミュニケーションを取る支会と子ども食堂や学習支援を実施する支会があり、それぞれの頑張りが子どもを支え、親の負担を軽くしている。行政や地域の組織との連携が事業を支えている事も良く解った。
●グループ発表
グループ毎で進行、記録、発表担当を決める。発表者はどの班も自分の言葉で上手くまとめ皆に分かりやすく説明できた。
*大役を成功裏に終え、次にうまくつないでいきたい。

城陽支会 島田 美智子



城陽市の取組みを成田昌司福祉課課長が説明



自立支援センターだより

〔南部センター〕ひとり親家庭自立支援センター 副センター長 宮野 欣一

ひとり親家庭自立支援センター（南部センター 京都テルサ内）では、3人の相談員が、母子家庭の母等の状況、就業適性、就業体験に応じ、適切な助言を行う就業相談や生活の安定を図るための生活相談に応じています。また、弁護士無料相談、就業に向けた各種セミナー、ほっこりカフェを開催しています。さらには、市町村や母子連支会と一緒に開催する出張相談やセンターPRイベントのママ再就職・子育て応援フェアを開催しています。加えて、各種専門機関や就労体験施設への相談者同行支援を実施しています。



当センターでは、もっと多くの方にご利用いただき、ひとり親家庭の自立に向けた支援に努めてまいります。



京都ジョブパーク・マザーズジョブカフェ

自立支援センターをどう利用すれば、いいの？

Q 仕事を探したい、転職したい。

A 相談員との面談のなかで、進みたい方向性や今できることを見だしながら、マザーズジョブカフェ内にあるマザーズハローワークと連携しながら仕事を探すお手伝いをします。また応募書類の作成支援も行います。

Q 資格やスキルを身につけたい。

A スキルアップのためのパソコン講習会や各種セミナーを年間を通じて開講しています。介護福祉士の資格取得を目指す実務者研修講座なども開催しています。

Q 離婚するかもしれない、これからどうしよう。

A 生活面での相談も行います。暮らしの環境を整えていく方を相談員と一緒に考えていきます。離婚にまつわる諸問題の法的解決に向けて弁護士相談なども利用できます。

KYOのあけぼのフェスティバルワークショップに出展しました！

KYOのあけぼのフェスティバル実行委員 佐竹 幸子

平成元年から開催されている「KYOのあけぼのフェスティバル」は、今年30回を迎え10月20日10時から京都テルサで行なわれました。「京炎そでふれ」の大学生の元気な演技で幕開け、あけぼの賞表彰式・シンポジウムで午前の部を終えました。

母子連は13時から東館2階の第2セミナー室で「ひとり親家庭のこどもの居場所づくりと各支会の取組」をテーマに活動の写真や工夫を凝らした説明をパネル展示し来場者に説明する形式をとりました。直接話すことで母子連の活動を周知でき有意義な展示でした。

ご協力いただいた支会や当日の準備・来場者対応等お手伝いしていただいた皆様にお礼申し上げます。来年はグレードアップし取組みましょう。



賛助会員募集

本会は、こどもが成長して寡婦となられた方たちが若年母子を支える力となるなど、お互いに支え合い、励まし合い、助け合って、日常生活支援事業やこどもの居場所づくり事業などにより生活支援や子育て支援に取り組んでいます。ひとり親家庭の人々へ、そしてそれらの家庭にあって育ちゆく子どもたちへ、ご理解・ご支援をいただける方を賛助会員としてお迎えするため会員の皆さんの賛助会員募集の取組みをお願いします。

賛助会費 1口 1,000円/年

あとがき

- 新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
- みなさんは「ひとり親家庭のしおり」をご存知ですか？
- 母子家庭・父子家庭・寡婦のみなさんにご利用いただける福祉の制度や、相談窓口などが項目別にまとまった冊子です。(平成30年4月1日発刊が最新)
- 市町村役場や保健所に置いてありますし、母子会等を通してお渡しすることもできますので、一度は目をとっておきましょう。
- 最後にりましたが、寄稿いただきました皆様ありがとうございました。(谷山 芦田)

道しるべ

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会
発行責任者 東 美佐子
〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地
京都府立総合社会福祉会館内
TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503
http://hitorioya.kyoto/



新年のごあいさつ

今を見つめて

京都府母子寡婦福祉連合会 会長 東 美佐子



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年各地で地震や大雨による自然災害が発生し、多くの方の生活がストップし、不安をもたらしました。5月には、元号が変わり、新しい1年が始まりますが、災害のない年になってほしいと願っております。

さて、昨年10月27～28日にかけて全国から800名が集い、全国母子寡婦福祉研修大会が岡山県で開催されました。団体決議の採択のもと、国へ要望をいたしますが、大会の中で厚生労働省の行政説明がありましたので少しふれてみます。平成30年12月支給から児童扶養手当の所得制限の限度額が130万円から160万円(扶養1人の場合)に引き上げられます。これにより母子世帯の多くの方が非課税になるでしょう。また、手当支給も2020年1月支払いから2ヶ月ごとになります。さらに、未婚のひとり親に対する寡婦控除(今までなかった)のみなし適用が実施されます。このように若いお母さん達が声をそろえ、要望することによって少しずつ改善に向かって進んでいきます。これが団体組織の力ではないでしょうか。

昨今、会員が著しく減少傾向にあります。何とかしてくい止めなければなりません。若い方の力や寡婦の方々の努力で組織を守っていく必要があります。皆で手を携えて頑張っていきましょう。

若年寡婦の皆さん、役員と仕事等との両立は大変であろうと思いますが、協力をお願いしたいと思います。私自身44歳の時、支会長を仰せつかり今に至っておりますが、現在も午前中は縫製工場へ裁断のパートへ行き、午後は家での自営業の襖や障子の張替の仕事と、内職として縫製の3つの仕事をもち、1日中フル回転で楽しんで働いております。引き受けた役職も私なりに努力をして精いっぱい頑張っております。子育て中の苦労は忘れ、今、充実した日々を、そして老後に向け皆様への感謝を忘れず、前向きに生きています。(余談ですが)

最後になりましたが、母子寡婦福祉の推進に対するご理解と温かいご支援を頂いております西脇隆俊知事様をはじめ、関係各位の皆様へ厚くお礼申し上げます。

会員の皆様にとって、この一年が穏やかで楽しい年になりますようお祈り申し上げます。

お知らせ

ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

今年も京都府・府母子寡婦福祉連合会・府民生児童委員協議会の共催で、次のとおり開催されます。知事さんと一緒に親子でゲームを楽しめます。兄弟姉妹も一緒に参加して頂けます。

日時 平成31年3月3日(日) 10:30~14:30【予定】
場所 京都テルサ
参加対象 新入学児童とその親(昨年参加できなかった在学一年生も対象です。)
内容 お祝いの会(知事と一緒に親子でゲーム、記念品のプレゼント)あそびのひろば(子ども)、講演会(親)
申込方法 府母子寡婦福祉連合会支会長あてに申し込んでください。
申込期限 2月8日(金)



日常生活支援事業

支援のしくみ

どんな人がみてるの？

●登録をすませ、研修を受けた「支援員」やホームヘルパーなどの資格を持つ「支援員」が、責任を持って支援します。

支援を受けたいときはどうすればいいの？

●まず登録を！あらかじめ登録された家庭でない、利用できません。現在、支援の必要には迫られていなくても、あらかじめ保健所に登録しておいてください。

「生活援助」ならあなたの家で「子育て支援」なら支援員の家や児童館などでも支援を受けられます！！

寡婦の利用については、独居の方(介護保険認定された方は利用できません。)が利用可能です。

費用は、どのくらい？

●支援の内容や、児童の人数等によって異なりますが、1時間300円以内です。





新年のごあいさつ

「新たな京都へ」

京都府知事 西脇 隆俊

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年4月、府民の皆さまからのご信託を賜り、京都府開庁から150年目の年に、第51代京都府知事に就任させていただきました。西脇隆俊です。

知事就任にあたっては、「現場主義を徹底すること」「前例にとらわれないこと」「連携すること」を職員に指示し、6月には「将来に希望の持てる新しい京都づくり」に向け、「安心で暮らしやすい社会の構築」「京都産業の活力向上」「スポーツ・文化力による未来の京都づくり」を重視した肉付け予算を編成して、府政をスタートさせました。

しかし、その直後には、6月の大阪府北部地震や7月の豪雨、9月に入ってから台風21号や24号、それに伴う強風被害や大雨など、次々と自然災害が襲いかかりました。改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた皆さまにお見舞いを申し上げます。

京都府では、災害後、直ちに補正予算を計上し、復興、復旧に向けた対策を講じるとともに、府民の皆さまの安心・安全を守るため、災害対応の検証を行い、先進的な防災・減災対策や治水対策、危機管理体制の強化充実など、地域防災計画の見直しを進めているところです。

一方で、昨年は、2020年のNHK大河ドラマが、京都ゆかりの明智光秀を主人公とした「麒麟がくる」に決定したことや、京都大学の本庶佑特別教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されるなど、歴史や文化、学術のまち京都にとって、大変喜ばしい出来事も多くありました。

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2021年度中とされる文化庁の全面的な京都移転、そして2025年国際博覧会（万博）の大阪・関西での開催を控え、日本そして京都への世界からの注目度は、今後ますます高まります。このチャンスを逃すことなく、本年9月に開催されるICOM（国際博物館会議）京都大会等においても、京都府内各地の多様な文化資源をアピールし、「日本の文化首都・京都」を世界中に発信してまいります。

今、国内外から多くの観光客が京都を訪れています。2017年の観光入込客数は約8,700万人、外国人宿泊客数は約360万人、観光消費額も過去最高の約1兆1,900億円を記録しました。しかし、それらの多くは京都市内に集中しています。

京都縦貫自動車道の整備や新名神高速道路の新区間開通によって、南北のアクセスは格段に向上しました。鉄道やバスの利用も含め、海・森・お茶の京都、竹の里・乙訓といった「もうひとつの京都」への周遊を促すことが重要です。観光客の満足度の向上や観光地の広域連携等を盛り込んだ「京都府観光総合戦略」を策定し、府内各地に効果が波及するよう取り組みを進めてまいります。

今年の3月には、「京都経済センター」がグランドオープンします。京都府・京都市・京都経済界が「京都経済百年の計」として力を結集し、京都経済の発展を支える拠点になるものです。このセンターを核に、オール京都体制で産学官の連携や人材育成、生産性の向上に一層取り組んでまいります。

こうした明るい未来に向かって、様々な取組を推進する一方で、私たちの足元には、乗り越えなければならない課題が山積みとなっています。日本は、少子化・高齢化がますます進展し、本格的な人口減少社会に突入することは避けられない状況です。東京への一極集中も依然として続いており、地域コミュニティが弱体化する中、労働力不足も深刻です。

私は、そうした課題に臆することなく立ち向かい、全ての世代の皆さまが暮らしやすい社会の実現を目指した「子育て環境日本一」の取組等を通して一つ一つの課題解決に努めてまいります。

さらに今年、天皇陛下が4月30日に御退位され、皇太子殿下が5月1日に御即位されます。現在、策定を進めている京都府の将来構想及び基本計画となる「新総合計画」では、新しい時代に対応した「夢のある将来ビジョン」を掲げ、次代を担う子どもたちが希望を持てる未来へのロードマップを描いてまいります。府民の皆さま、「新たな京都」に向けて共に歩みを進めてまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

こどもの居場所づくり事業

夏休み等短期型

福知山市こどもの居場所づくり事業

「一緒に楽しく学習しましょう」 福知山市母子寡婦福祉会 会長 土田 泰子

夏休みの（土）（日）の午前中に、4人の指導者に2人ずつお世話になり、夏休みの宿題、自分が勉強したいと思う事を楽しく学びました。又料理教室を2回実施し、子ども達だけでも出来る身近にある材料を使った、簡単でおいしい料理を作りました。

今年度は台風や水害の関係で、野外研修が出来なくなったり、会場が避難所になる等、ハプニングの連続でしたが、子ども達はのびのびと自主的に勉強していました。

牛乳パックを使ったF1カーの作成もしました。色を塗って細かい部品を組立てて教室の床で走らせました。

初めて実施した年には、恥ずかしがって下を向いていた子が高学年になり、小さい子を手伝う姿も見られるようになりました。

子ども達が行きたい！と思ってくれような居場所を作っていきたいと思います。



F1カーの作成

休日等通年型

城陽市こどもの居場所づくり事業

「未来へ はばだけ城陽っ子」 城陽市母子寡婦福祉連合会 会長 小木曾 扶美代

私達は行政の方々、地域の方々、保護者の方々となつながら、休日等通年型（年間50日）を講師の方とスタッフ一同で取り組んでいます。

料理の先生を招いて、親子クッキング教室を開催し、先生と一緒に初めて持った包丁で、玉ねぎの皮をむき、みじん切りを教わりました。子ども達は涙を流しながら挑戦していました。また、ハロウィンの時は、子どもがそれぞれアイデアを出し、文化パルク城陽での仮装大会で、魔法の帽子や、マントを作り、身につけてとても楽しそうしている姿を見せて頂きスタッフ一同感動しました。今後とも、子ども達が安心して過ごせる居場所づくり事業に励んでいきたいと思ひます。



大好きな英会話

ハロウィン工作

生活充実通年型

長岡京市こどもの居場所づくり事業（ハンブーガーデン・アイリスガーデン）

「See You Next Week」 長岡京市三つ和母子会 会長 佐竹 幸子

長岡京市三つ和母子会の英語塾アイリスは、アメリカ人の講師と大学生のサポーターの協力により、英語を聞く・英語で話すことを目的にワイワイ楽しく遊びながら勉強しています。トランプゲームでは英語で数字を言いながら勝ち負けを楽しんでいます。プロジェクターを使い皆で同じ問題を解いています。新参加者は英語で自己紹介しスタッフにも話しに来てくれます。

お母さん達は情報交換したり母子会の情報収集をしています。顔をあわせるだけの関係から気楽に交流でき安心して集える場になってきました。帰る時は自分達の使った食器等は洗って片づけ、「シーユネクストウィーク」と笑顔で帰っていきます。1人でも多くの子ども達が参加してくれる事を願っています。



北部

京丹後市母子寡婦福祉会 尾瀬 貴子

8月19日（日）、北部母子部交流会が京丹後市弥栄町でありました。午前中は、日頃子育てで悩んでいる事を話したり、どのように子育てをしてきたのかなど伺ったり、たくさんの学びの時間でした。とくに先輩方の笑顔を見たり笑い声を聞く事で「何とかなるか」「わからなかったら聞こう」ととても前向きな気持ちにさせていただきました。お昼は、子ども達と一緒に焼きそばを作りお腹いっぱいになりました。午後からは丹後王国へ行きブルーベリー狩り。「うわ～大きいね」「甘くて美味しい」とパクパク口に頬張りながら、バックいっぱいのブルーベリーを収穫。とても暑い日でしたが、みんな体調を崩すことなく元気いっぱい、お腹いっぱい、大満足の日になりました。ありがとうございました。



中部

6月24日（日）福知山駅前の市民交流プラザにて中部母子部交流会が開催されました。

今年は親子で「デコ巻きずし」に挑戦しました。まずはのりをカットし、片側1センチを残し、うっすらごはんをのせて……から始まり、目はほうれん草、口はチーズかまぼこ、頭はしそごはんを使い、個性豊かでもともかわいいたパンギンの顔に仕上がりました。

普段、お会いする機会のない方々と同じテーブルでの調理で交流もでき、「巻きずしで巻く瞬間がドキドキだったね。」「食べるのがもったいないね。」と子どもも皆で話しながら美味しく頂きました。

午後からは親同士、子ども同士での交流がありましたが、私と娘は参加出来ませんでしたので、来年また参加させて頂き、日々の生活の活力に繋げていけたらと思っています。良き時間を過ごせありがとうございました。

福知山市母子寡婦福祉会 福田 裕美



南部

6月17日（日）に恵解山古墳、みんなのお家、サントリービール工場で南部母子部交流会が開催されました。

午前は恵解山古墳で、青空の下親子で遊び、みんなのお家では、親は懇談会、子ども達は「語り」を聞きました。

私の子どもはまだ幼く「語り」をじっと聞けず、付きっきりだったため、懇談会には参加できませんでしたが、参加者からは、ひとり親に関する施策等を学び合い、色々な環境の方との意見交換、今後に役立つ情報を得ることができたとの声があり、また機会があればぜひ参加したいと思ひました。

午後からは、サントリービール工場で見学と試飲をしました。普段忙しく、なかなか親子でゆっくりと過ごす時間がないですが、母子会の役員様、皆様のおかげで親子で充実した1日を過ごすことができました。ありがとうございました。

長岡京市三つ和母子会 笠井 智加



いきいきふれあい事業を通じて想う事

舞鶴市母子福祉会 会長 常塚 朋子

今年度は、姫路城ヨーテルの森にてパン作りを計画しました。以前は遊園地が多かったのですが体験型の事業にと京都府からも声があり母子部の皆が考えて決めてくれました。親子がパン作りで真剣でどんな形にしようかとお母さんと悩んで何回もつぶしてはやり直しをしていました。

またバター作りでは手がだるくなるまで振り、固まった時は大変喜んでいました。出来上がったパンを食べながら、美味しい、美味しいと大はしゃぎでした。帰りのバスでは年間行事をお知らせして、初めての参加の人には入会をしていただき母子会をアピールしました。寡婦は母子を育て支えていこうと心に誓いました。



ローソン「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」

この奨学金は「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」と名付けられたもので、返還不要で月額3万円が中学校3年生と高校生、高専生（1年～3年生）等を対象に選考の上、給付されます。募集人数は全国400名で、全国47都道府県及び政令指定都市等ごとに最低4名以上が選出されます（人口比等により算出）。尚、2019年度の募集は、別途ご案内します。



ホームページ

を活用して下さい！

奨学金・福祉の制度や相談窓口・セミナーイベントの紹介をしています。ぜひご覧ください！



検索ワード → 京都府母子連 🔍 検索